



八中だより



第24号
令和7年3月25日
府中市立
府中第八中学校



〈在籍生徒数〉 一学年249名、二学年261名、三学年241名
 全校生徒数751名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★卒業式では、地域の皆さんからたくさんの祝福の言葉をいただきました。ありがとうございました。

『不安が意欲に変わるとき』(修了式の話の一部)

校長 高汐 康浩

私は、あるSNSの『👍』マークをとても気に入っています。その投稿に共感したり、感動したりしたときに「いいね」というメッセージを表すものです。下のスタンプは、以前、小学校の校長をしていた頃に、いいねマークを模して作ったものです。その小学校の児童たちが連絡ノートや教科のノートなどの「プラス思考の発言」にスタンプを押していました。児童たちが、「どんな発言をすれば『いいね』をもらえるか」など、仲間どうして情報を交換していたことを思い出します。



ところで、皆さんが不安に感じるときはどのようなときでしょうか。新年度を迎え、これまで通りに楽しく学校生活を送れるだろうか？進路実現に向けた取組を順調にできるだろうか？友だちとの関係がよくなってしまったり以前のように関係をもどせるだろうか？などなど。私自身のことを振り返ると、自分とは何なんだろうか？生きる意味って何だ？これからどう生きていくのか？などとても難しい問題について自問自答しながら揺れていたことを思い出します。

では、大人の今の私に不安はないかということについてお話しします。実はいっぱいあります。もしかすると中学生の頃よりもたくさん不安を抱えているかもしれません。ある会議のことをお話しします。そのときは、提案された案件に対して意見を述べようと考えていました。でも、そのことについて、私自身は詳しくないし深く考えたことがなかったので、私の発言は的外してないだろうか、などと不安がありました。でも、自分の発言はきつと役に立つだろうと考え

勇気をもって発言をしました。ところが、周りの反応は全くありませんでした。しばらく沈黙が続いたところで、ある会議の参加者が私の意見に賛同してくれました。その時点で私の不安は一瞬のうちに安心、そして、意欲に変化したのです。これまでの経験からいえることは、「不安は外部からのほたらきかけて安心に変化する」、「不安の裏には意欲が隠れている」ということです。思春期という不安定な時期の中学生の皆さんにもたくさん不安があると思います。そんなときは、ぜひ、考えや思いを発信してみましよう。そうすれば、だれかが「いいね」と言ってくれたり、修正意見を言ってくれたりするはずですよ。その後には、不安は意欲へと変化をしていきます。私たち大人は、子供たちの考えなどをしっかりと受けとめ、「いいね」や「こうした方がもっといいんじゃないか？」というメッセージを伝え、子供たちのやる気、意欲を高めていくことが大切だと思っています。

『本年度も教育活動へのご協力、ご支援いただき、ありがとうございました』

「八中の生徒の皆さんは、本当に親切ですね。」
 「八中の生徒の皆さんの合唱は素晴らしい！感動で涙がとまりません。」
 「八中の生徒の皆さんは、学校行事、部活動、地域行事などに意欲的です。」

来校される多くの方々や地域の方々からいただくお言葉です。生徒がいきいきと、前向きに取り組めたのは、保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様の多大なご協力やご支援があったからこそだと思っています。来年度もますますのステップアップを目指していききたいと思います。これまで同様、皆様としっかりと連携しながら活動を行ってまいります。引き続きよろしくお願いたします。



盛大に祝福！ 第51回卒業式



『送ることば』

桜のつぼみもふくらみ、春の訪れを感じる今日この頃となりました。本日は、ご卒業おめでとうございます。
学校生活の様々な場面で、先輩方が築き上げてきた伝統や後輩を思いやる温かい心が、私たちに受け継がれていることを実感しています。

体育祭では、手際よく準備を進める先輩方に安心してついて行くことができませんでした。学年種目のムカデ競走では、学級で心をつなぐ前に進む姿と迫力のある走りに圧倒されたことを今でも鮮明に覚えています。
合唱コンクールでは、先輩方の力強くも美しい歌声に心を震わされました。私たちも先輩方に負けないくらい素晴らしい合唱をつくらせていこうと決意することができました。

委員会活動では、先輩方のリーダーシップのもと、八中をより良くしていくための話し合いを進めることができました。学年の絆を超えて私たちに様々なことを教えてくださいました。私たちが先輩方のように、「こんな先輩になりたい」と慕われるよう一人ひとりになりたいと思います。

部活動では、厳しい練習の中でも笑顔絶やさず、時には厳しく、時には優しく私たちに指導してくださいました。先輩方の一つひとつの言葉、全力でプレーする姿勢、諦めない心が、私たちの支えとなり、大きな成長へとつながりました。試合や大会、コンクールでの真剣なまなざしや、仲間と共に喜び合う姿は、私たちの記憶に深く刻まれています。

今、先輩方との思い出を振り返るといつも温かく私たちの背中を押してくださいました。3年間は、努力と挑戦、喜びと感動に満ちたものであったことと思います。そして、私たち後輩にとっても憧れであり、目標でもありました。

これから先輩方は、それぞれの新たな道へと進まれます。新しい環境に戸惑うことや、不安を感じることもあるかもしれませんが、しかし、先輩方がこの府中第八中学校で培ってきた経験や努力は、必ず力になるはずですよ。どんな壁が立ちまわっていても、ここで学んだことを胸に、一歩ずつ前に進んでいってください。私たちは、先輩方の輝かしい未来を心から応援しています。本日は、ご卒業誠にありがとうございます。本日は、ご卒業誠にありがとうございます。

令和七年三月十九日
在校生代表 青木 侑亜

『別れのことば』

入学より二年前、肩幅の余る制服に落ち着かないまま迎えた入学式。この校舎の広さに驚き、よく道に迷ったことを覚えています。入学してから、お互いのことを知り、先輩方の優しさに触れ、先輩方の姿から多くを学ぶうちに、私たちの不安は消えていきました。
二年生に進級からは、後輩ができたことで難しさもありません。特にテストが近づくと授業に活気が出るようになったと思います。

部活動 全力で取り組んだ部活動はかけがえない思い出となりました。大切な仲間や顧問の先生方と過ごした時間はあっという間で終わりました。けれど最後までやり通すことの大切さ、全力で物事に取り組むことの楽しさなどたくさん学ばせてくれました。また、部活動は他学年との交流の場でもありました。先輩の姿に憧れ、一年生の頃、二年生になって感じた先輩になるというこの大変さ。これらは部活動でしか味わえないものだと思っています。失敗したり、落ち込んだり、辛いこともありました。目標に向かって努力しました。この経験があったからこそ、卒業後という目標に向かって受験勉強など様々なことで頑張れたのだと思います。部活動で得たことをこれからも大切にしていきたいです。

体育祭 全力を尽くし、喜びや悔しさを分かち合った体育祭。クラスが変わって間もないころ、体育祭をきっかけに新しい仲間たちと絆を深めることができました。体育祭のあの日、全力で走り、声を枯らして応援し、最高の瞬間を仲間と共有したことはかけがえない思い出です。
クラスの団結力が試された三年生のムカデ競争。最初の練習では足並みが全く揃わず、転んでばかりでした。誰かがつまづく全員が崩れてしまえば悔しい思いをしました。でも諦めずに声を掛け合い、一歩ずつリズムを合わせていくことで少しずつ前に進むようになりました。本番ではスタートの合図と同時に心を一瞬にみんな「せーの」と声を出し進み始めました。転んでも立ち直り走り出す姿は多くの人の心に感動を与えたと思います。勝敗以上に大切だったのは、諦めずに挑み続けたこと、そして仲間と協力したことです。

合唱コンクール 合唱コンクールに向けた練習は、私たちにとって大きな成長の機会となりました。練習を重ねるたびに上達していく自分たちの合唱に自信を深めることもあれば、他のクラスや先輩方の素晴らしい合唱に圧倒されることもありました。しかし、仲間と励ましあひながら努力を重ねたことで、最後には心を一つにして歌う喜びを感じることができました。この経験を通じて得た団結力や達成感、これからの人生において大きな力となることでしょう。

委員会 最初は右も左もわからず、与えられた仕事をこなすのに必死だった委員会活動。じぶんの考えに自信がもてず中々意見を言えなかった日々をなつかしく思い出します。活動を続けるうちに、仕事に慣れ、やりがいを感じられるようになりました。
三年生では実感したことをまとめる立場になり、今までたくさん学んだことを先輩方に伝えられたことに感謝しています。うまく引継ぎたいけれど不安でしたが、みんなの意見を聞き合ひながら活動し、今思えば委員会として最高の一つのチームになったと思います。
最初は、ただ与えられた仕事をこなすだけでした。でも、活動を重ねるうちに、誰かのために働くことがこんなにもやりがいがあるものだと気がつきました。

辛い経験(怒られたこと) 入学直後は緊張していた私たちが徐々に友達ができるなどして学年全体が明るくなってきました。そうすると、怒られることも多くなりました。ある時は先生方に、ある時はお母さんお父さんに怒られました。大人に反抗してしまう時期でもありましたが、もう少し正しい行動をしておけばよかったと後悔しています。しかし、それは個人的で元気がすぎる学年だからこそのことだと思います。今では良い思い出なのかもしれません。いざいざにせよ、この学年は本気を出せばどの学年よりもバワフルでした。体育祭では新記録を出すなどとても激しい戦いでしたが、合唱コンクールでは美しい歌声がホールに響いていました。そのような学年が今日で離ればなれになってしまうのも少し寂しい気がしますが、怒られたこともありました。が、とても良い学年だったと思います。

学年行事 学年行事では、仲間と共に多くの経験を重ねてきました。一年生の河口湖校外学習では失敗もあり、二年生の鎌倉校外学習では制限が多くなっていました。しかし、「自由拡大計画」というスローガンのもと、皆で協力し合い、見事に成功を収めることができました。そして迎えた三年生の京都・奈良修学旅行では、制限が少なく、「思い出拡大旅行」のスローガンのもと、仲間と過ごす時間の大切さを改めて感じながら、素晴らしい思い出を作ることができました。
これからの行事を通じて、仲間と協力する大切さや困難を乗り越える喜びを実感しました。共に過ごした時間や得た絆は、私たちの人生においてかけがえない宝物です。

五十周年 私たちが三年生のとき、この学校は五十周年という大きな節目を迎えました。その記念式典に関わることでできたのは大きな誇りです。準備を進める中で学校の歴史や先輩方の歩みを知るたびに、私たちもこの伝統の一部なのだと実感しました。
式典当日、在校生や先生方、そして地域の皆様方が一堂に会し学校の歩みを振り返る姿を見たとき、改めてこの学校が多くの人に愛され大切にされてきたことを感じました。式典で歌った歌は、来賓の方に感動を与え、八中の伝統である合唱は多くの人から褒め言葉をいただきました。
五十年という歴史の中で、私たちが過ごした三年間はほんの一瞬かもしれませんが、それでも仲間と共に学び、成長し、伝統を受け継ぐことができたこの時間はかけがえないものです。

進路に向かおう 受験に向けた日々は、決して楽なものではありませんでした。不安や焦りに押しつぶされそうになることもありました。仲間や先生方の支えのおかげで乗り越えることができました。模試の結果に一喜一憂しながらも、自分を信じて努力を続けたことで、少しずつ成長を感じることができました。時には思うように成績が伸びず、挫折しそうになることもありましたが、友人と励まし合いながら最後まで諦めずに挑み続けました。また、受験を通じて得たのは、学力だけでなく、努力することの大切さや目標に向かって頑張る力です。合格したときの達成感や喜びは、これまでの努力が報われた瞬間でした。そして、その努力を支えてくれた存在への感謝の気持ちを忘れずに、これからも新たな一歩を踏み出していきます。

感謝の気持ち・未来に向かおう 私たちに親身に、時には厳しく接してくださいました先生方。生意気で、迷惑をかけてばかりな私たちに手を焼いたと思います。本気で向き合い、多くの学びを与えてくれて本当にありがとうございました。そして、一番近くで支えてくれた家族。温かく見守り続けてくれたこと、どんなときでも信じていてくれたこと、全てに感謝しています。家族がくれた愛が、挑戦へのエネルギーになりました。
長いようで、あっという間だった三年間。楽しいことも辛いこともたくさんありました。全て乗り越えて今日、卒業式を迎えられたのは、力を尽くしてくれた周りの大人たち、そして何より、大切な仲間がいたからです。何気ない一瞬一瞬が、今では宝物です。別れの悲しみ、新たな出会いへの期待を抱えて、私たちは一歩を踏み出します。みんなが、必ず、輝ける未来を切り開き、歩んでいくと信じています。

令和七年三月十九日

卒業生代表

- 橋本 董
- 鈴木 愛果
- 安中 晴哉
- 高宮 佑太朗

お矢がせ

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまつて困つているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、『♡安心♡』してください。リーフレット「不安や悩みがあるときは…一人で悩まず、相談しよう」「相談するとうなるの?」「保護者向け相談窓口一覧」と「TOKYOほっとメッセージチャンネル」を紹介し、URLをクリックすることでアクセスできます。



Topics 活躍する八中生

【敬称略】

★吹奏楽部定期演奏会★

「お客様を楽しませる演奏」をテーマに七曲＋アンコール曲を演奏しました。

★美術部★

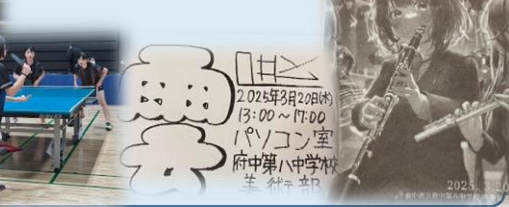
「雲展」では、雲をテーマにした作品を発表しました。部員たちは参加された皆さんに丁寧にご案内や説明をしました。

★卓球部★

第三十一回関東中学校選抜卓球大会 東京都の代表として出場

★女子バレーボール部★

第9ブロック一年生技術研修大会 優勝



◆一年生、二年生が三年生へ

卒業メッセージを送りました!

何といつても「合唱」に関するメッセージが多くありました。「本当にありがとうございました」、「よかった」、「やさしくたくましい歌声」、「合唱すかたー」など、リーダーシップを発揮する三年生への憧れやこれからの進路での活躍を祈るメッセージなどあたたかさがありました。

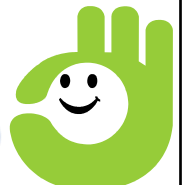


<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>



進級する皆さんにワンポイント・アドバイス



★「やばい」の意味

ある日、京王線の調布駅の改札を出たところで、数名の若者たちに声を掛けられました。彼らは、私と会うなり、「やばい!やばい!」と手を叩きながらうれしそうに叫んでいました。

「やばい」の意味を調べると一番目の意味として「危険または不都合な様子。状況・具合が良くないさま」という文言(もんごん)が記(しる)されています。私は、「やばい」と言われ、まずは私の顔に何か付いているのかな?何かおかしいなことを言ってしまったのかな?などと考えてしまいました。でも、彼らの言った「やばい」の意味は違ったのです。久しぶりに中学校で習った先生に会えて、「とてもうれしい」という意味だったので。

★言語と思考 言語と「コミュニケーション」

おいしい食べ物を食べても「やばい」、うれしくても「やばい」、いやな気持ちになつても「やばい」、「やばい」という言葉はとても便利(べんり)そうではないのです。シチュエーションによっては誤解を招く言葉だと思つた方がよさそうです。少なくとも私は久しぶりに会つた教え子たちからは、いきなり手を叩きながら「やばい」と言われたときには、あまりいい感じがしませんでした。最近、この言葉に似た使い方をされる言葉に「えぐい」というものがあります。

私たちが思考をするときには必ず「言語」を使って思考をします。言葉の数が多いほど思考は豊かになると考えられます。そして、言葉の数が多ければ豊かなコミュニケーション(コミュニケーション)をとることができると思います。

★「悪性」と「言語」

進学や進級という節目に、自分がどれだけ多くの言葉を使えるようになったのか振り返ってほしいと思います。例えば、きれいなものを表現するとき「やばい」の一言だけではなく、いろいろな言葉を使って豊かに表現できるようになっていきますか?きれいなものをきれいな言葉を使って表現できるようにすることは、感性も豊かに育っているといつてよいと思います。